

埼玉佛教

平成26年4月 第198号

平成26年4月25日 発行
 No.198
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 萩野 映明
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



平成25年度第2回代議員会議（平成26年3月27日・埼玉佛会館）

目次	
平成25年度第2回代議員会議	
平成25年度第4回理事會	
平成25年度第1回臨時評議員會	
平成26年度事業計画	2
平成26年度予算	3
出欠一覧	5
第6回埼玉佛教文化講座	6
地区仏教会だより	
▼東松山・滑川仏教会	8
▼川越市佛教会	9
トピックス	
「解放同盟」新年旗ひらき	9
「全仏」新年懇親會	10
「埼玉青」日想経行	10
「埼玉連」宗教法人研修會	11
計報	
事務局日誌	12
編集後記	12

一般財団法人埼玉県佛教会 平成26年度事業計画

基本方針

埼玉県内寺院教会の緊密な連携のもと、県下佛教活動の推進、発展に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と文化の向上に寄与するため、次の諸事業を行なう。

事業計画

総務

- 1 第36回埼玉県佛教徒大会の開催（主管 寄居・花園・川本地区仏教会・北部地区）
- 2 人権教育並びに「埼玉同宗連」との連携
- 3 佛教徒募金、歳末助け合い運動の実施

財務

- 1 会費納入と未納整理
- 2 埼玉会館の管理運営

教化

- 1 第66回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会の開催
- 2 第7回埼玉佛仏教文化講座の開催
- 3 更生保護事業の推進・助成（清心寮）
- 4 宗教法人研修会への参加推進
- 5 機関紙『埼玉佛教』発行等の広報活動

組織

- 1 休眠地区対策
- 2 組織の強化と全一仏教意識の高揚推進
- 3 県佛青及び県佛保の育成並びに全青協への助成

善意銀行

救援基金の運用及び仏教教化事業への助成

埼玉県警察本部との連携

埼玉県警察本部との協同活動
『交通安全の推進』、『振り込め詐欺防止』、『暴力団排除』等

平成26年度埼玉県寺院名簿の作成

第36回埼玉県佛教徒大会

（主管 寄居・花園・川本地区仏教会・北部地区担当）

期日：平成26年10月17日（金）

会場：寄居町中央公民館（寄居町大字寄居1300）

第66回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会

期日：平成26年9月11日（木）

会場：埼玉会館大ホール

一般財団法人埼玉県佛教会 平成26年度 予算

(単位：円)

科目名	公益事業	収益事業	法人会計	26年度合計	25年度	増減	摘要	
	【公益目的】	【特別会計】	【一般会計】					
収 入	会費収入			12,960,000	12,960,000	12,960,000	0	@8,000円
	佛教徒募金収入			3,000,000	3,000,000	3,000,000	0	@2,000円
	奉詠大会収入	1,800,000			1,800,000	1,600,000	200,000	灯明料 @2,000円
	利息収入			10,000	10,000	10,000	0	
	賛助金収入			1,750,000	1,750,000	1,750,000	0	灯明料、関連団体より賛助金
	雑収入			60,000	60,000	50,000	10,000	
	貸事務所収入		8,500,000		8,500,000	8,000,000	500,000	
	駐車場収入		4,560,000		4,560,000	4,500,000	60,000	
	施設利用料収入		700,000		700,000	700,000	0	
	代理店収入		100,000		100,000	50,000	50,000	第一生命、アフラック積立年金
前期繰越			5,000,000	5,000,000	5,000,000	0		
経常収益合計	1,800,000	13,860,000	22,780,000	38,440,000	37,620,000	820,000		
支 出	奉詠大会費	2,200,000			2,200,000	2,200,000	0	
	県佛大会費	1,000,000			1,000,000	1,000,000	0	
	仏教文化講座費	500,000			500,000	600,000	▲100,000	前年度科目「研修交流費」
	善意銀行	600,000			600,000	600,000	0	
	広報費	1,400,000			1,400,000	1,400,000	0	機関紙「埼玉佛教」4回発行、ホームページ
	育成費	460,000			460,000	460,000	0	埼玉青、埼玉佛保、全仏婦
	全日本仏教会寄附金	650,000			650,000	650,000	0	
	「埼玉宗連」寄附金	350,000			350,000	350,000	0	
	「埼玉同宗連」寄附金	60,000			60,000	60,000	0	
	地区教化活動助成金	1,530,000			1,530,000	1,530,000	0	地域行事助成
	埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
	更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0	
	歳末助け合い運動寄附金	600,000			600,000	600,000	0	内50万円を清心寮に指定寄附
	全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
	事業費計	9,850,000			9,850,000	9,950,000	▲100,000	
	給料・手当	7,200,000	320,000	480,000	8,000,000	7,850,000	150,000	
	顧問料	300,000	300,000	100,000	700,000	700,000	0	顧問税理士
	管理費	65,000	975,000	260,000	1,300,000	1,990,000	▲690,000	エレベーター管理、塵芥料、モップ交換
	賃金・報酬	247,000	33,000	20,000	300,000	450,000	▲150,000	アルバイト賃料他
	租税公課	250,000	4,270,000	1,000,000	5,520,000	5,450,000	70,000	固定資産税、消費税、法人税他
	保険料	24,000	400,000	96,000	520,000	520,000	0	あんしん財団、職員保険、火災保険
	福利厚生費	135,000	6,000	9,000	150,000	150,000	0	
	旅費	675,000	30,000	45,000	750,000	550,000	200,000	通勤手当、職員旅費
	会議費	495,000	22,000	33,000	550,000	500,000	50,000	理事、評議員会諸費用
	報償費・旅費	900,000	40,000	60,000	1,000,000	1,000,000	0	役員旅費
	光熱水費	1,620,000	72,000	108,000	1,800,000	1,600,000	200,000	電気ガス水道(埼玉ワッダー社、河合楽器分租)
	印刷費	270,000	12,000	18,000	300,000	200,000	100,000	封筒他
	書籍費	90,000	4,000	6,000	100,000	100,000	0	新聞購読料他
	消耗品費	630,000	28,000	42,000	700,000	650,000	50,000	コピー用紙、文具他
	通信費	855,000	38,000	57,000	950,000	900,000	50,000	電話、郵便料
	貸借料	812,000	33,000	55,000	900,000	890,000	10,000	事務機器リース料他
	交際費	186,000	0	14,000	200,000	100,000	100,000	自治会費、他団体交流他
	中退共掛金	356,000	16,000	24,000	396,000	300,000	96,000	職員退職金積立
慶弔費	270,000	12,000	18,000	300,000	450,000	▲150,000		
修理費	450,000	500,000	50,000	1,000,000	600,000	400,000		
雑費	45,000	2,000	3,000	50,000	100,000	▲50,000	振込料他	
管理費計	15,875,000	7,113,000	2,498,000	25,486,000	25,050,000	436,000		
積立金			500,000	500,000	500,000	0		
法人会計へ振替		6,747,000	▲6,747,000					
公益事業補填金増減額	▲23,925,000		23,925,000				公益事業への振替	
予備費			2,604,000	2,604,000	2,120,000	484,000		
費用合計	1,800,000	13,860,000	22,780,000	38,440,000	37,620,000	820,000		

平成25年度

第2回代議員会議

第4回理事会

平成26年3月27日(木)、10時30分から埼玉佛会館において、『平成25年度第2回代議員会議』が開催された。会議では、清水永信代議員(庄和)が互選され議長を務めた。

平成26年度事業計画案ならびに予算案について協議がなされた。また平成26年度埼玉県寺院



平成25年度

第1回臨時評議員会

平成26年3月28日(金)、13時30分から埼玉佛会館において、『平成25年度第1回臨時評議員会』が開催された。会議の議長は、互選により、上村正剛評議員(岩槻)が務めた。

事業計画(2頁)、予算(3頁)が承認された。また、寺院名簿作成についても了承された。各会議の出席者は5頁の通り。



名簿の作成について協議がなされ、活発な意見が出され理事会に具申されることが確認された。続く、13時30分から『平成25年度第4回理事会』が開催され、先の代議員会議で協議された内容に基づき協議され、平成26年度・事業計画案ならびに予算案が議決された。また、平成26年度寺院名簿の作成についても議決された。

〒330-0052

さいたま市浦和区

本太一―四二―二

天台宗

延命寺

住職 河野 亮仙

電話

〇四八(八八二)六三九〇番

FAX

〇四八(八八五)三六六六番

訂正とお詫び

・前号の修正とお詫び

▼3頁右上

平成25年受章報告において佐瀬英雄師の地域名称に誤りがありました。

×秩父市→○長瀨町

関係各位には、大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。深くお詫び申し上げます。

《 出 欠 一 覧 》

平成25年度 第2回代議員会議

平成26年3月27日(木) 10:30~・埼玉会館 1階多目的ホール

(○出席者、△委任状、□代理、敬称略・順不同)

会 長	○ 萩野 映明	[飯能・能仁寺]		
副 会 長	○ 木村 盛雄	[所沢・持明院]	○ 倉持 秀裕	[蕨・戸田・三学院]
専 務 理 事	○ 深谷 雅良	[入間東部・大應寺]		
常 務 理 事	○ 穂山 教雄	[菟蒲・妙福寺]	△ 加藤 玄静	[本庄・城立寺]
	△ 杉村 良哉	[八潮・観音寺]	○ 糸原 恒久	[川越・蓮馨寺]
代 議 員	△ 鎌田 亮宣	[浦和・長覚院]	○ 鷲山 真哉	[大宮・多聞院]
	△ 佐々木 妙修	[与野・妙行寺]	○ 江連 俊裕	[川口・錫杖寺]
	○ 馬場 知行	[鴻巣・宝持寺]	○ 稲田 碩哉	[上尾・楞嚴寺]
	○ 中村 信行	[蕨・戸田・平等寺]	○ 陶山 憲裕	[朝霞・三光院]
	○ 別所 隆雄	[伊奈・法光寺]	○ 野口 孝之	[吹上・宝蔵院]
	○ 米山 知行	[川越・常楽寺]	○ 引間 維一	[所沢・長青寺]
	○ 小川 廣明	[飯能・長松寺]	△ 野本 亮廣	[狭山・廣福寺]
	○ 渡辺 宏之	[入間・長福寺]	○ 石渡 隆幸	[入間東部・金蔵院]
	○ 水田 弘光	[坂戸・鶴ヶ島・慈眼寺]	△ 安西 昌道	[越生・毛呂山・法恩寺]
	○ 中嶋 栄	[東松山・滑川・正法寺]	△ 森下 弘道	[護法・宗心寺]
	△ 小林 元秀	[小川連合・圓光寺]	○ 佐伯 頼栄	[都幾川・慈光寺]
	○ 小谷野 禎正	[川島・大聖寺]	○ 村田 栄行	[吉見・息障院]
	△ 宮寺 守正	[鳩山・玉川・金澤寺]	○ 町田 廣文	[秩父・廣見寺]
	△ 土橋 昭宏	[小鹿野・宝円寺]	○ 佐瀬 英雄	[北秩父・洞昌院]
	△ 大野 宏文	[本庄・開善寺]	○ 篠塚 秀文	[児玉・龍泉寺]
	△ 斎藤 勝治	[熊谷・東光寺]	△ 黒田 紀雄	[深谷・広泰寺]
	○ 角山 祥隆	[荒南・保安寺]	□ 小杉 年定	[妻沼・長昌寺]
	○ 小山 典勇	[寄居・常光寺]	△ 福島 伸悦	[行田・長光寺]
	△ 馬場 弘壽	[加須・龍昌寺]	○ 梅澤 清真	[羽生・遍照院]
	△ 関根 隆光	[岩槻・光秀寺]	○ 池田 常臣	[春日部・圓福寺]
	△ 丹羽 尊照	[草加・西願寺]	○ 佐々木 純一	[越谷・東福寺]
	△ 中井 省悟	[久喜・東雲院]	○ 田口 峰道	[八潮・長安寺]
	△ 島崎 英種	[菟蒲・正眼寺]	△ 榎本 賢隆	[三郷・光福院]
	○ 矢野 雪巖	[蓮田・保福寺]	○ 山本 幸義	[幸手・大阿寺]
	○ 今野 泰男	[宮代・醫王院]	△ 矢部 玄道	[白岡・寿楽院]
	△ 石垣 正順	[栗橋 [代行]・深廣寺]	△ 山岡 武秀	[鷲宮・広福院]
	○ 吉州 正見	[杉戸・正明寺]	○ 齊藤 淳道	[松伏・静栖寺]
	○ 西山 祐照	[吉川・観龍院]	○ 清水 永信	[庄和・明清寺]
代理出席	□ 備前高 賢光	[妻沼・圓満寺]		
事務局	○ 金子 嘉広	○小池 康宏	○本間 照康	

【代議員 出席33名・委任状22名・代理1名 合計56名/現数56名】 / [] 内は地区名・寺院名

平成25年度 第4回理事会

平成26年3月27日(木) 13:30~・埼玉会館 2階西会議室

会 長	○ 萩野 映明	[飯能・能仁寺]		
副 会 長	○ 木村 盛雄	[所沢・持明院]	○ 倉持 秀裕	[蕨・戸田・三学院]
専 務 理 事	○ 深谷 雅良	[入間東部・大應寺]		
常 務 理 事	○ 穂山 教雄	[菟蒲・妙福寺]	△ 加藤 玄静	[本庄・城立寺]
	△ 杉村 良哉	[八潮・観音寺]	○ 糸原 恒久	[川越・蓮馨寺]
理 事	○ 白石 通昭	[東松山・滑川・清見寺]	○ 山口 正純	[川口・密蔵院]
	△ 中井 隆吾	[秩父・光明寺]	○ 河野 亮玄	[浦和・東泉寺]
	○ 嵩 海雄	[東松山・滑川・了善寺]	○ 佐瀬 英雄	[北秩父・洞昌院]
	○ 穂積 容山	[鴻巣・龍昌寺]	△ 坂東 隆秀	[深谷・正傳院]
	○ 眞島 亮悟	[寄居・花園・川本・浄福寺]		
監 事	△ 井倉 賢一	[鷲宮・寿徳寺]	○ 河野 亮仙	[浦和・延命寺]
事務局	○ 金子 嘉広	○小池 康宏	○本間 照康	

【理事 出席13名・欠席4名/現数17名】 / [] 内は地区名・寺院名

平成25年度 第1回臨時評議員会

平成25年3月28日(金) 13:30~・埼玉会館 2階東西会議室

評 議 員	○ 石川 法夫	[久喜・善徳寺]	○ 上村 正剛	[岩槻・弥勒密寺]
	○ 大嶋 法道	[岩槻・慈恩寺]	○ 角山 祥隆	[荒南・保安寺]
	○ 川端 清光	[岩槻・浄国寺]	○ 坂本 良光	[深谷・妙光寺]
	△ 関根 隆光	[岩槻・光秀寺]	○ 中村 信行	[戸田・平等寺]
	○ 沼田 正順	[川越・妙昌寺]	○ 藤井 壽雄	[吉川・清浄寺]
	○ 馬路 宏樹	[入間・長徳寺]	○ 實淨 龍彦	[川越・栄林寺]
	○ 向井 隆健	[行田・宝蔵寺]	△ 森田 真隆	[都幾川・全長寺]
	△ 吉田 宏哲	[本庄・宥勝寺]	○ 鷲津 憲道	[越谷・観照院]
出席理事	○ 萩野 映明	[飯能・能仁寺]		
	○ 木村 盛雄	[所沢・持明院]	○ 倉持 秀裕	[蕨・三学院]
	○ 深谷 雅良	[富士見・大應寺]		
	○ 穂山 教雄	[久喜・妙福寺]	○ 加藤 玄静	[本庄・城立寺]
	△ 杉村 良哉	[八潮・観音寺]	△ 糸原 恒久	[川越・蓮馨寺]
監 事	○ 井倉 賢一	[鷲宮・寿徳寺]	○ 河野 亮仙	[浦和・延命寺]
事務局	○ 金子 嘉広	○小池 康宏	○本間 照康	

【評議員 出席13名・欠席3名/現数16名】 / [] 内は市町村名・寺院名

第6回埼玉佛敎文化講座

平成26年2月19日(水)、埼玉佛敎會館を会場に「第6回埼玉佛敎文化講座」を開催した。

講師は東京都中野区にある曹洞宗天徳院住職の大藪正哉師を招き『今日もニコニコありがと』を演題にご講演いただいた。立春過ぎの2月8日と15日は2週続けて大雪に見舞われ、積雪具合から参加者の減少を危惧する程であったが、幸いにも当日は好天に恵まれ、県内外から約70名の参加があった。

講演に先立ち、萩野映明会長から主催者あいさつが行われ、「大藪先生の話は何度か聴いているが、居眠りをさせないで話を聞かせるのが先生のモットー、聴くたびに新鮮さを感じますと述べた」。

《以下、講演内容抜粋》

◆講演の始まりは「私は82歳だから、もうじきお迎えが来て、ご先祖の仲間入りをすると思うが、今日ここに居る皆さんももうじきです」と軽く笑いを取ったところから始まった。

はじめに先生から参加者へ「自分が死んだ時の事を考えて、



今からどういうことを用意しておいた方が良いでしょうか？」と質問が出された。唐突にマイクを向けられた男性は「そうだったことを考えたことが無かった」と答えると間髪入れず「ああ、そろそろ考えたほうが良いね」と応酬。一般的に葬式を挙げると考えれば、遺影用の写真を撮っておいて、死んだらこの写真を使えば良いという状態にしておくことを勧めます。性能が良くなったとはいえ家庭用のカメラではなく、多少のお金は掛かってプロに撮ってもらうってください。個人とプロの決定的な違いは、プロに頼めばシワ等、修正を加えて幾分か見栄えを良くしてくれる。そのくらいの配慮があっても良いと思います。私がお檀家さんと同じような話をするとうし！すぐにやろう」という人と「いやいや、まだまだ！」という人が居る。前者のような『早速やりました』という人に限って中々逝



大藪正哉先生「曹洞宗天徳院住職中野区」

かない(笑)。すぐやろうと考える人は、自分にとって必要なことだと真剣に思う人。健康についても同じようなことが言える。だから『まだまだ』と思っている人はそれがアダとなることが多い。

◆写真を撮っておく事の次に大切なことは、自分が生きている間は健康であり続け、自分の足で歩き続けることです。その為には、ご飯を良く噛んで食べる事がとても大切です。



『よく噛んで、よくよく噛んで、よく噛んで、呑みこむ前に、もう一度噛む』

食べ物は胃で消化されると思
い込んでいる人が多い。胃は強
い胃酸によって外来細菌を殺菌
するところで、消化するのは口
です。例えば、我々の主食であ
るご飯（炭水化物）は唾液に含
まれるアミラーゼという消化酵
素によって糖に変換され、発酵
が促されます。よって良く噛ま

ずに飲み込んでしまうと炭水化
物が消化されず、食べても食べ
ていないのと同じことになりま
す。よく噛むことは完全な分解、
吸収につながり、少ない食事の
量で必要な栄養分が取れ、胃腸
に余計な負担をかけることもな
くなります。それが良く噛むこ
との理由です。しかも、良く噛
んで食べると食べ過ぎを防ぐこ
とができる。口の中で食べ物を
噛み続けると、だんだん味が薄
くなってきて、美味しくなくな
る。そこで良く噛まずに『もう
一口』を重ねると食べ過ぎてし
まう。

『ほとけさま、

おてんとうさま、

ありがとう』

自分の健康を守るためには、
このお唱え事を忘れないでくだ
さい。自身の健康を守ることが
ご先祖様への供養につながりま
す』と補足した。

◆ある学校の校長先生と話をし
た時『給食の時には子供達に「い
ただきます」を言わせないとほ
しい』と保護者がやってきたと
いう。お金を払っているのに何
故にただきますを言わせるのか
ということだった。

我々が食事の前に「いただき
ます」と言うのは、天地の恵み
を頂くのであって、お金がどう
こうということではない。お天
道様のおかげで我々は食べ物を
食べさせていただいているとい
うことを忘れてはいけないと警
鐘を鳴らした。自分の驕りを抑
えるためにもお唱えすることを
お勧めします。

講座の締めは、橋幸夫と吉永
小百合がデュエットで歌った
「いつでも夢を」の替え歌「み
んな心の中に居る」を皆で歌つ
た。この歌には大藪老師の考え
方が実に良く表現されている。

『みんな心の中に居る』

- ①心静かに 心を見れば
- ※みんな 心の中に 居る
- みんな 居る居る 心の中に
- いつでも 居ます 心の中に
- どこでも 居ます 心の中に
- みんな 心の中に 居る
- ②お空の星も ご先祖様も
- ※
- ③この世の人も あの世の人も
- ※
- ④見えてる物も 見えない物も
- ※
- ⑤どんな思いも 思うすべては
- ※
- ⑥お陰さまです 心さわやか
- みんな楽しく生きようよ
- みんな 居る居る 心の中に
- いつでも 居ます 心の中に
- どこでも 居ます 心の中に
- みんな楽しく生きようよ

この歌を歌ったことで何となくでも心がさわやかになったと感じたら、我々のご先祖様は一番お喜びくださっているはずなのですと結んだ。

ご講演の後は、教化担当の加藤玄静常務理事より謝辞ならびに閉会あいさつが述べられた。

『お釈迦さまの教えを一言で表せば「おかげさま」。朝起きて、夜眠れるという、あたり前のことが、あたり前にできることとの大切さをお話しいただきました。』

『これほど分かりやすく「おかげさま」についてお話いただいた上に、質疑応答の時間を加えていただいたことから「よく聴いて、よくよく聴いて、よく聴いて、先生が帰る前に、もう一度良く聴く」というお唱えが浮かびました』と披露して閉会。

地区仏教会だより

「第19回仏教講演会」

東松山・滑川仏教会

平成25年11月25日(月)、東松山・滑川仏教会(中嶋栄会長)では、第19回仏教講演会を開催し、千余名が参加した。同会では担当宗派が宗定法要



を厳修しており、本年、当番の天台宗では埼玉教区法儀研究会の出仕を得て、「天台声明と雅楽」と題して厳肅なる法要式が行われた。照明など演出に工夫が凝らされ、来場した参加者は式衆が声明を唱える中、天井から散華が降り注ぐと感動の声をあげ、中には合掌する姿も見られた。

続く加盟宗派の代表者が登壇した開会法要では、来場者と一緒に天台宗の法式に則り勤行が行われた。

本年の講師は、NHK大相撲解説者・スポーツキャスターとして活躍する舞の海秀平氏を招いた。舞の海氏は九州場所の千秋楽を見届けた翌日に会場入りしたが、疲れを感じさせることなく、70分余りの講演を行った。

講演は「我が相撲人生」であったが、話題は大相撲の作法や歴史、角界へ入った動機やエピソード、ニュース番組の出演を通して学んだ人間観、そして、人

生の歩み方のヒントを語った。

聴衆は、舞の海氏の穏やかな人柄とユーモアあふれる講演に至福の時を堪能した。

閉会式では、参加費の一部を交通遺児援護金として埼玉県防犯・交通安全課の飯塚清隆副課長より、感謝状の交付と謝辞が申し添えられた。

当日の来場者は、記念の絵馬を受け取り、天台声明の美しさや、講演の楽しさを口々にし、盛大裡に「仏教講演会」は終了した。

(報告・東松山・滑川仏教会

村井 惇匡)



「成道会記念・川越仏教講座」

川越市佛教会

平成25年12月7日(土)、川越市連雀町・蓮馨寺(浄土宗)を会処に、川越市佛教会(米山知行会長)「成道会記念・川越仏教講座」を開催いたしました。

当日は肌寒い中ではございましたが、100名近い方々にご参加をいただくことができました。

午後1時30分より、先ず「成道会法要」を会処の蓮馨寺・糸原恒久住職御導師により、川越市佛教会会員寺院13ヶ寺の宗派を超えた御随喜をいただきながら厳修いたしました。

引き続き記念講演として、東洋大学文学部教授・渡辺章悟先生より「般若心経の世界」との講題にて、ご講演をいただきました。渡辺先生は、プロジェクトを用いながら聴衆の視覚に

も訴えつつ、時にユーモアを交ながら「般若心経」につき丁寧な解説下さいました。特に「経典の翻訳に当たって、大切な言葉は中国語に翻訳しないという「決まり」があった。『般若心

経』最後にある、『ギャーティ、ギャーティ、ハラギャーティ、ハラソー、ギャーティ、ボージーソワカ』という言葉は、世界中すべての仏教徒によって同じように唱えられる箇所であり、共なるねがいに触れていくことのできる大切な教えであります」という渡辺先生のお言葉が深く印象に残ったものです。

最後になりましたが、お忙しい中、ご講演下さった渡辺先生、またこの川越仏教講座開催にあ



たり格別なるご尽力を賜りました多くのご支援者の皆様に深く感謝申し上げます。ここに本年も盛会のうちに仏教講座が円成いたしましたことをご報告申し上げます。

(報告・川越市佛教会事務局)

トピックス

「新年旗びらき」

部落解放同盟埼玉県連合会

平成26年1月9日(木)、部落解放同盟埼玉県連合会の新年旗びらきが、熊谷市内のホテルガーデンパレスを会場に開催され、「埼玉同宗連」から7名が出席

した。第1部では、NHKで放送された「情報屋敷のネットワークを追う」のDVDが上映された。続く第2部の旗びらきで



は、片岡明幸県連執行委員長が冒頭挨拶をし、続いて来賓挨拶、紹介が行われた後、「埼玉同宗連」を代表して備前島賢光議長が挨拶を行った。また、恒例の抽選会が賑やかに行われ、当選者には場内から大きな拍手が送られた。最後に水島照彦県連副委員長が音頭で団結ガンバローを行い閉会。



「新年懇親会」

全日本仏教会

平成26年1月28日(火)、全日本仏教会が主催する新年懇親会が、港区内のホテルで開催され、本会の萩野映明会長(第30期全仏副会長)が出席した。

また深谷雅良専務理事の他、事務局から2名と専務理事随員の2名が出席。



〈半田孝淳師(天台座主)〉



開会行事では、現30期会長の半田孝淳師(天台座主)および萩野会長を含む5名の副会長ならびに次期31期の会長に就任する加藤精一師(豊山派管長)および初めて推戴された尼僧の鷹司誓玉師(大本山善光寺大本願法主)ら副会長4名が壇上において紹介された。続いて半田会長は新年挨拶の中で、現職中を振り返り感慨深い様子と同時に、この4月から新会長に就任する加藤老師にエールを送った。また、全仏設立以来初めての尼僧、

鷹司副会長へは、女性ならではの優しさと感性を活かしていただきたいと述べた。来賓祝辞は、部落解放同盟中央本部・中央執行委員長の組坂繁之氏が述べた。乾杯の発声は、北河原公敬現副会長が勤めた。北河原師は、仏教界を代表してダボス会議に出席した事を報告し、今後も継続して出席し、日本仏教の存在を堅持していただきたいと要望され杯を上げた。

新年懇親会には、全仏に加盟



〈加藤精一師(豊山派管長)〉

している宗派、都道府県仏教会、仏教団体、賛助企業の他、政界などから450名近い出席があった。

「日想経行」

埼玉県佛教青年会 玄奘塔日想経行発起人会

平成26年2月5日(水)、慈恩寺玄奘霊骨塔(岩槻)にて今年も「日想経行」が営まれた(主催 埼玉県佛教青年会・玄奘塔日想経行発起人会)。今年は玄奘三蔵の1350年遠忌を迎える特別な年。

「経行」は仏教において修禅法の一つとされ、静かに瞑想しながら反復歩行するもの。「日想経行」では、玄奘三蔵が目指した天竺、あるいは極楽浄土を臨む西方より光が差し来る時刻を選び、塔の周囲を経行するというもの。法師の御霊骨が中国

政府より日本仏教界に正式分贈され、岩槻の玄奘塔に奉安されて以来60年という節目を迎えたことに因んで平成22年から催された。

前日は中止も危ぶまれる程の雪に見舞われたが、一転して朝から快晴に。慈恩寺山主の大嶋法道師（本会評議員）を筆頭に埼玉県佛教青年会を含む、有志市民ら約50名が霊骨塔に集結した。立春を過ぎたとはいえ、寒風吹きすさぶ中、西方より寂光差し掛かる夕刻、僧侶と信仰心篤い信者が玄奘三蔵霊骨塔の周りを巡る経行を行った。老若男女を通じて『三蔵法師』の名はよく知られているものの、その御真骨が岩槻にあることを知る人は少ない。是非一度、訪れてみてはいかがだろうか。



慈恩寺

坂東33観音霊場

第12番札所

・さいたま市岩槻区

慈恩寺139

・048(794)1354

・東武野田線「豊春」駅下車

徒歩25分(2km)

『日想経行に参加して』

「県佛青」

事務局次長 本間 照康

前日の降雪もあつて気温が低く、風も強く吹いている中でしたが、大勢の方と共に玄奘三蔵法師1350年の御遠忌を迎えられたことを嬉しく思います。約1400年前に、命をかけてインドから数多くの仏典を中国へ持ち帰り、翻訳を続けた法師の求道の精神を、私達は決して忘れることなく、受け継いでいかなければならないと強く感じました。この日、法師に感謝を



しながら、塔の周りを経行し、般若心経をお唱えしましたが、今回この御遠忌のために手作業で玄奘塔に大理石を敷き、整備してくださった近隣住民の皆様のご苦労に対しても、深く敬意を表しております。これからも、玄奘三蔵法師という偉大な人物を軸とし、有志の僧侶と近隣住民の皆様で日想経行を盛り上げて参りたいと思います。

「平成25年度宗教学者研修会」 埼玉県宗教学連盟

平成26年2月12日(水)と13日(木)、埼玉県宗教学連盟と埼玉県総務部学事課の共催により、平成25年度宗教学法人研修会が開催された。

12日(水)は熊谷会場(熊谷地方庁舎)・参加者22名、13日(木)はさいたま会場・参加者約64名でそれぞれ開催された。会場は、例年さいたま会場として埼玉佛会館を会場提供している。

参加者は仏教系、神道系、キリスト系が主で、その他の宗教団体が続く。

第1日目の熊谷会場では、主催者挨拶を理事長の飯野敏明氏（日本基督教団）が務め、続いて埼玉県宗教連盟が行っている事業の説明をした。翌日のさいたま会場では、副理事長の滝瀬恵一氏（立正佼成会）が挨拶をし、続いて事務局の本間主事補が事業説明を行った。

研修会は、毎年、学事課担当者による「埼玉県における基本的な事務手続きについて」の講演を60分と社会における様々な問題をテーマに取り上げ、外部講師を招いて行う講演を60分の2部構成で開催されてきたが、今年度は学事課からの説明に多くの時間を用いた。学事課担当者によると、例年に比べて参加申込が多く、また当日の欠席者が最も少ない開催であったとのこと、今後しばらくはこの形式が続くかもしれないとのこと。

訃報

お悔やみ申し上げます。

平成26年 1月

19日 川島町広徳寺（豊山）

岩田 文雄 師（88歳）

事務局日誌

平成26年 1月

7日 ▼ 埼玉佛青「写仏」

9日 ▼ 県連旗開き（解放同盟／熊谷ガーデンパレス）

16日 ▼ 平成25年度第3回理事会／新年懇親会（浦和ロイヤルパインズホテル）

17日 ▼ 「埼玉宗連」新年懇親会（浦和・山崎屋）

23日 ▼ 「埼玉同宗連」新年懇親会（伊勢丹バンケット）

24日 ▼ 「埼玉保」埼玉県佛教幼児画展準備会／新年懇親会（南浦和・菊ずし）

25日 ▼ 「埼玉保」第29回埼玉県佛教幼児画展（26日）

27日 ▼ 「埼玉佛青」執行部会

28日 ▼ 全仏新年懇親会（ザ・プリンスパークタワー東京）

2月

5日 ▼ 埼玉佛青「日想経行」（岩槻・慈恩寺玄奘塔）

12日 ▼ 「埼玉宗連」宗教法人研修会（熊谷地方庁舎／13日・埼玉佛青）

18日 ▼ 埼玉佛青「写仏」

19日 ▼ 第6回埼玉佛教文化講座

24日 ▼ 組織委員会

25日 ▼ 教化委員会／財務委員会
総務委員会

3月

3日 ▼ 埼玉佛青「梵字勉強会」（富士見市・大應寺）

4日 ▼ 埼玉佛青「写仏」

9日 ▼ 埼玉佛青「チャリティーボウリング大会」

11日 ▼ 「解放同盟」埼玉集会（ときわ会館）

19日 ▼ 第3回県佛大会実行委員会（寄居・常光寺）

27日 ▼ 第2回代議員会義／第4回理事会（埼玉佛青）

28日 ▼ 第1回臨時評議員会（埼玉佛青）

編集後記

4月頭にトレイルランニングの大会に参加してきました。野山を自在に駆け回るトレイルの魅力は「自然に返る」ということでしょうか。アップダウンは厳しいけれども、足にはやさしい土の感触。そして自然の香り。現代生活の中で、忘れられつつある感覚がそこにあります。春本番、野へ山へ飛び出して自然を堪能してみましよう。（鯉）